

あ と が き

昭和55年度に年中行事、人生儀礼、生業・諸職調査のあとをうけ、経済生活・社会生活を調査項目とする調査班を組織し、第4次福生市民俗調査が発足した。調査の期間は、55年度を予備調査期間に、56年度から58年度までを本調査及び調査報告書執筆の期間に設定した。調査班は主任調査員と調査員、事務局からなり、主任調査員に河上一雄氏、調査員に川鍋幸三郎氏、増田昭子氏をお願いした。その後、塚本利昭氏、今越祐子氏、辻山涼子氏を加えたが、今越、辻山両氏は57年に退任し、佐野和子氏が新たに加わった。調査地は、熊川地区の南地域、内出地域、福生地区の永田地域の中から一つを選定し集中調査を行なうこととした。予備調査の結果、南・内出地域を調査対象地域に選んだ。56年には河上主任調査員によりアンケート調査が実施された。また、各調査員により聞き取り調査、記録、資料の収集と分析が実施された。57年度において、調査報告書の構成が決定し、執筆分担を行なった。以後、各調査員は執筆分担の項目について調査を行なうこととし、調査会議を何回も開催する中で主任調査員による問題点の指摘、調整をうけ情報の交換を行ない、報告書の出版に至った。(社会教育課 宮田 満)

次に、各執筆の分担者を記し、その責を負いたい。

序 説	河上一雄 (福生市文化財総合調査、民俗調査班 主任調査員)
I. 経済生活	
1. 衣・食・住	
(1) 衣	佐野和子 (民俗調査班調査員)
(2) 食	増田昭子 (" ")
(3) 住	川鍋幸三郎 (" ")
II. 社会生活	
1. 村落構成 (1)、(2)、(3)、(5)	塚本利昭 (" ")
(4) 互助と交際	川鍋幸三郎
2. ムラの内部区分	塚本利昭
3. 年令集団と講集団	佐野和子
4. 家族と親族	佐野和子